

平成 29 年度東京歯科大学水道橋病院

医療連携報告会・懇親会

プログラム・抄録集

日 時：平成 29 年 10 月 4 日（水）18:30～

会 場：東京歯科大学水道橋校舎新館血脇記念ホール

「新技術を用いた先端歯科医療」

□ 講 演 ① 18:40～「CBCT とマイクロエンド」

□ 講 演 ② 19:20～「私の臨床 どう使い分けていますか？」

メタルボンド、オールセラミッククラウン、CAD/CAM 冠」

◆ 懇 親 会 20:20～ 会場：水道橋校舎南棟 2 階会議室

平成 29 年度東京歯科大学水道橋病院
医 療 連 携 報 告 会 ・ 懇 親 会

【医療連携報告会】

日 時：平成 29 年 10 月 4 日(水) 18:30～

会 場：東京歯科大学新館血協記念ホール

テーマ：「新技術を用いた先端歯科医療」

司会：地域医療連携委員長・副病院長 山 下 秀一郎

17:30～ 受付開始 ポスター発表

18:30～ 開会挨拶 水道橋病院長 矢 島 安 朝

18:40～ 講 演 ① 「CBCT とマイクロエンド」

歯内療法学講座教授 古 澤 成 博

19:20～ 講 演 ② 「私の臨床 どう使い分けていますか？」

メタルボンド、オールセラミッククラウン、CAD/CAM 冠」

クラウンブリッジ補綴学講座教授 佐 藤 亨

20:00～ 閉会挨拶 地域医療連携委員長・副病院長 山 下 秀一郎

【懇 親 会】

時 間：同日 20:20～

会 場：東京歯科大学水道橋校舎南棟 2 階会議室

～ 講演 ① ～

CBCT とマイクロエンド

東京歯科大学水道橋病院

歯内療法学講座 主任教授 古 澤 成 博

歯内療法領域における最近のトピックスと言えば、歯科用コーンビーム CT(CBCT)をはじめとするデジタルイメージングの導入、Ni-Ti ファイル、そしてマイクロスコープの応用です。日常臨床における歯内療法領域の診断では、旧来のエックス線写真のみでは診断が不可能であった患歯を、CBCT によって立体的に診断することが可能となりました。また、CBCT による正確な診断の下、マイクロスコープを用いて明視下で確実な処置を行うことによって、従来は抜歯適応であった患歯を保存することが可能となりました。歯内療法以外の通常の日常臨床においても、旧来の方法に比較してマイクロスコープを応用して処置を行った方が、確実に成功率が高くなると言われています。

歯科領域にマイクロスコープが導入され、直視下で処置を行う試みがなされるようになってから、早いものですでに 20 年以上が経過しています。従来、手探りで治療を行わなければならなかった領域に、処置精度の向上につながる視覚強化 (Visual enhancement) の一手段としてマイクロスコープが導入されたことは、歯科医学の進歩に大きな貢献を果たしたといっても過言ではないでしょう。

昨年の保険改正において、ようやく CBCT での診断下にマイクロスコープを用いて歯根端切除術を行うことが保険に導入されたのに加え、今春の保険改正では、槌状根 4 根管歯における加算算定もできるようになり、一般の臨床歯科医師に対して歯内療法におけるマイクロスコープの活用が、より身近なものとなってきました。

そこで今回、改めて歯内療法領域の診断における CBCT の有用性と、マイクロスコープを用いた歯内療法の基本について、症例を提示しながら解説したいと思います。

～ 講演 ② ～

私の臨床 どう使い分けていますか？

メタルボンド、オールセラミッククラウン、CAD/CAM 冠

東京歯科大学水道橋病院

クラウンブリッジ補綴学講座 主任教授 佐 藤 亨

最近、オールマイティの歯冠修復として 30 年以上臨床使用されてきた陶材焼付鑄造冠（メタルボンド）に代わり、ガラスセラミッククラウンやジルコニアを使用したオールセラミッククラウン・ブリッジが日常臨床で使用されてきている。これらの修復法は、歯冠の形態、色調とともに咬合や口腔機能の回復も図れるメタルフリー修復法であることが大きな特徴となっている。このオールセラミック修復は、ガラス材料とその鑄造技術の進歩、ジルコニア材料と CAD/CAM 技法の進歩発展により臨床応用が可能となった。

またこの CAD/CAM 技術を使用して、平成 27 年にハイブリッドレジン製の CAD/CAM 冠が一部医療保険に導入された。このハイブリッドレジン製は金銀パラジウム金属に代わる材料として、小臼歯のクラウンに適応され、保険診療で可能な審美的歯冠修復法、メタルフリー修復法として広がっている。この CAD/CAM 冠は、臨床術式から従来の歯冠修復法とは全く異なるものとする必要がある。

今回の講演では、まずオールセラミッククラウンの種類とその特徴、CAD/CAM 冠の特徴を理解して頂く。そして私の臨床では、このオールセラミッククラウンとメタルボンド、CAD/CAM 冠をどのように使い分けているかをお話しする。

また併せて、従来法と異なるこれらのクラウンの装着・接着のポイントを解説し、皆さんの明日の臨床に生かす講演にしたいと考えている。

病院長	矢 島 安 朝
副病院長	末 石 研 二
副病院長	山 下 秀一郎
副病院長	高 野 正 行

東京歯科大学水道橋病院

診療科担当医ご案内(レギュラースタッフ)

(H29.9.1現在)

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	部長・教授	古 澤 成 博	歯内療法学
	講師	末 原 正 崇	
		(間 奈津子)	
	助教	佐 古 亮	
		杉 内 亜紀奈	歯周病学
	教授	齋 藤 淳	
	医局長・講師	勢 島 典	
	講師	大 井 麻 子	
		喜 田 大 智	
		鈴 木 瑛 一	
補綴科	助教	(今 村 健太郎)	保存修復学
		村 松 敬	
		杉 戸 博 記	
	教授	春 山 亜貴子	保存修復学
		半 場 秀 典	
	講師	櫻 井 薫	老年歯科補綴学
		上 田 貴 之	
	准教授	石 崎 憲	
		竜 正 大	
	講師	高 野 智 史	老年歯科補綴学
		太 田 緑	
補綴科	助教	和 田 健	老年歯科補綴学
		部 長 ・ 教 授	
	医局長・講師	佐 藤 亨	老年歯科補綴学
		野 本 俊太郎	
	講師	(四ツ谷 護)	クラウンブリッジ補綴学
		腰 原 輝 純	
	助教	神 田 雄 平	クラウンブリッジ補綴学
		林 原 貴 徳	
	教授	山 下 秀一郎	パーシャルデンチャー補綴学
	臨床准教授	堀 田 宏 巳	
口腔外科	講師	田 坂 彰 規	
		森 岡 俊 行	
	助教	中 村 恵 子	
		古 屋 克 典	
		大 平 真理子	
	教授	柴 原 孝 彦	口腔顎顔面外科学
		客員教授	
		齊 藤 力	
		高 野 正 行	
	講師	山 本 信 治	口腔顎顔面外科学
		渡 邊 章	
口腔外科	助教	吉 田 秀 児	口腔顎顔面外科学
		大 野 啓 介	
		関 根 理 予	
		山 村 哲 生	
	部長・教授	片 倉 朗	口腔病態外科学
		准教授	
	医局長・講師	笠 原 清 弘	
		別 所 央 城	
	講師	菅 原 圭 亮	
		高 木 亮	
口腔外科	助教	西 山 明 宏	口腔病態外科学
		部 長 ・ 教 授	
	准教授	片 倉 朗	口腔病態外科学
		笠 原 清 弘	
	医局長・講師	別 所 央 城	口腔病態外科学
		菅 原 圭 亮	
	講師	高 木 亮	口腔病態外科学
		西 山 明 宏	
	助教	部 長 ・ 教 授	口腔病態外科学
		准教授	

診療科名	職名	氏名	講座名
歯科麻酔科	部長・教授	一 戸 達 也	歯科麻酔学
	部長代理・准教授	松 浦 信 幸	
	講師	半 田 俊 之	
	医局長・助教	久木留 宏和	
	助教	吉 田 香 織	
矯正歯科	部長・教授	末 石 研 二	歯科矯正学
	講師	宮 崎 晴 代	
		片 田 英 憲	
		西 井 康	
	医局長・講師	石 井 武 展	
	助教	安 村 敏 彦	
		海老澤 朋 宏	
内 山 沙 姫			
小児歯科	部長・教授	新 谷 誠 康	小児歯科学
	医局長・講師	辻 野 啓一郎	
	講師	櫻 井 敦 朗	
	助教	本 間 宏 実	
		荒 井 亮	
口腔インプラント科	部長・教授	矢 島 安 朝	口腔インプラント学
	客員教授	松 浦 正 朗	
	講師	本 間 慎 也	
		(佐々木 穂 高)	
	医局長・講師	高 梨 琢 也	
	助教	守 源太郎	
		吉 田 光 孝	
平 野 友 基			
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	科長・教授	福 田 謙 一	口腔健康科学
	准教授	大多和 由 美	
	医局長・助教	半 沢 篤	
健康スポーツ歯科	科長・准教授	武 田 友 孝	
	医局長・講師	中 島 一 憲	
摂食嚥下リハビリテーション科	科長・教授	石 田 瞭	
	医局長・講師	大久保 真 衣	
放射線科	部長・教授	後 藤 多津子	歯科放射線学
	准教授	和 光 衛	
	医局長・講師	音 成 実 佳	
	助教	渡 邊 素 子	
臨床検査科	部長・教授	井 上 孝	臨床検査病理学
	部長代理・教授	松 坂 賢 一	
	講師	村 上 聡	
	助教	國 分 克 寿	
		中 島 啓	
内科	科長・准教授	山 岸 由 幸	
眼科	科長・教授	ビッセン弘子	
	講師	平 沢 学	
	助教	太 田 友 香	

()長期出張中

～ ご 案 内 ～

【診療情報提供書（紹介状）について】

「診療情報提供書（紹介状）」ご入用の際には、恐れ入りますが下記までご連絡のほど
お願いいたします。

東京歯科大学水道橋病院 地域医療連携室
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-9-18
TEL:03(5275)1732(ダイヤルイン)、FAX:03(3262)3215
E-mail:renkeish@tdc.ac.jp

【各科へのお問い合わせ電話番号について】

診療のお約束やお問い合わせは、各科直通ダイヤルインにおかけ下さいますよう
お願い申し上げます。

受付時間：平日 8:45～18:00 土曜 8:45～13:00

保 存 科	03(5275)1721 03(5275)1722	補 綴 科	03(3262)3425 03(3262)3426
口 腔 外 科	03(5275)1725	矯 正 歯 科	03(5275)1724
小 児 歯 科	03(5275)1723	スペシャルニーズ歯科・ ペインクリニック科	03(5275)1795
歯 科 麻 酔 科	03(5275)1851	口腔インプラント科	03(5275)1760
健康スポーツ歯科	03(5275)1721 03(5275)1722	摂食嚥下リハビリテーション科	03(5275)1732
内 科	03(5275)1926	眼 科	03(5275)1856
放 射 線 科	03(5275)1953	医 事 課（受 診 案 内）	03(5275)1932

【日本歯科医師会生涯研修について】

当医療連携報告会は、（社）日本歯科医師会生涯研修事業に認定されております。
受付に IC カードリーダーを用意しておりますので、会員の先生方は、日歯生涯研修事業
IC カードをタッチして単位登録を行ってください。

《MEMO》

地域医療連携委員会委員

【委員長】山下秀一郎 【副委員長】大多和由美【顧問】矢島安朝、加藤靖明

【水道橋病院委員】石井哲、石田瞭、一戸達也、井上孝、片倉朗、後藤多津子、佐藤亨、
椎名美和、新谷誠康、末石研二、高野正行、武田友孝、日塔慶吉、ビッセン弘子、
福田謙一、古澤成博、本間慎也、松浦信幸、宮城島俊雄、山岸由幸

【学外委員】臼田準、元田文治、仲谷清孝、西川美月、文野弘信、矢郷生和、山本秀樹

※50 音順